

設計歩掛等参考見積募集要領

次のとおり設計歩掛等参考見積書を募集します。

令和7年11月14日

独立行政法人水資源機構

利根川下流総合管理所長 松村 貴義

1. 目 的

この作業歩掛等参考見積の募集は、利根川下流総合管理所で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛等を依頼するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 当機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、利根川水系及び荒川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、項目毎に必要な設計歩掛等を記載して提出して下さい。
なお、参考見積書の様式は問いませんが別紙－1「歩掛参考見積内容」を参考に提出してください。
- (2) 提出期間：令和7年11月21日(金) から令和7年11月27日(木)まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
午前9時から午後4時まで
- (3) 提出場所
独立行政法人水資源機構 利根川下流総合管理所長 松村 貴義 宛
【担当】総務課 伊澤、宮本
〒300-0732 茨城県稲敷市上之島3112
TEL 0299-79-3311 FAX 0299-79-3316
- (4) 提出方法
書面は持参、郵送又はファクシミリ（社印があること）により提出するものとします。
- (5) 見積件名
件名は、「河口堰深淺測量参考見積書」とします。

4. 参考見積内容

(1) 見積条件

- ①参考見積は、別紙－2の「見積仕様書」に基づき見積もるものとします。
- ②見積募集であるため一般管理費等の諸経費は計上しないでください。
- ③見積金額等は、消費税を抜いた金額を記載してください。

④見積有効期限 令和8年3月31日

(2) 業務費の構成と歩掛等見積徴取範囲

- ① 本歩掛等参考見積を適用する測量業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
- ② 歩掛等参考見積募集範囲は、基準書で定義されている直接測量費のうち、上記（1）を実施するために必要な技術者、資機材等の員数等を募集します。

(3) 作業員の職種と定義

国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期間：令和7年11月14日(金) から令和7年11月20日(木)まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後4時まで
- (2) 提出場所：3. (3)に同じ。
- (3) 提出方法：3. (4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和7年11月25日(火) から令和7年11月27日(木)まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とする。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

以 上

歩掛参考見積内容

- ・一回当たりの歩掛を記入してください。また、特記事項があれば記載してください。
- ・着色したセルに数量等を記入して下さい。

(1) 深浅測量

① 現地踏査 一回当たり

工種・名称	規格	単位	数量	日数	単価	備考
直接人件費						
測量主任技師		人				
測量技師		人				
測量技師補		人				
測量助手		人				
測量補助員		人				
測量船操縦士		人				
機械経費	消耗品等	%				直接人件費に対する割合
通信運搬費		%				直接人件費に対する割合
材料費		%				直接人件費に対する割合
精度管理費			0.09			深浅測量 精度管理費係数

※深浅測量(利根川河口堰上下流、黒部川下流)の実施にあたっての現地踏査とします。

※機械経費として測量船、トータルステーション、音響測深器、ライトバン、雑器材等を見込んでいます。

※通信運搬費は想定しておりませんが、御社にて必要と見込む場合は内訳器材について明示をお願いいたします。

※材料費として、木杭、フィルム、記録紙、燃料、雑品等を見込んでいます。

※精度管理費として、精度管理、機械器具の検定に必要な経費であり、係数は水資源機構が定める積算基準に基づき算出しています。

③ 利根川河口堰上流域 測量範囲(450m×230m) 10,000m2当たり

工種・名称	規格	単位	数量	日数	単価	備考
直接人件費						
測量主任技師		人				
測量技師		人				
測量技師補		人				
測量助手		人				
測量補助員		人				
測量船操縦士		人				
機械経費	消耗品等	%				直接人件費に対する割合
通信運搬費		%				直接人件費に対する割合
材料費		%				直接人件費に対する割合
精度管理費			0.09			深浅測量 精度管理費係数

想定数量：110,000m2程度とし、1割程度の変動を想定しています。

※機械経費として測量船、トータルステーション、音響測深器、ライトバン、雑器材等を見込んでいます。

※通信運搬費は想定しておりませんが、御社にて必要と見込む場合は内訳器材について明示をお願いいたします。

※材料費として、木杭、フィルム、記録紙、燃料、雑品等を見込んでいます。

※精度管理費として、精度管理、機械器具の検定に必要な経費であり、係数は水資源機構が定める積算基準に基づき算出しています。

② 艦装テスト 一回当たり

工種・名称	規格	単位	数量	日数	単価	備考
直接人件費						
測量主任技師		人				
測量技師		人				
測量技師補		人				
測量助手		人				
測量補助員		人				
測量船操縦士		人				
機械経費	消耗品等	%				直接人件費に対する割合
通信運搬費		%				直接人件費に対する割合
材料費		%				直接人件費に対する割合
精度管理費			0.09			深浅測量 精度管理費係数

※深浅測量(利根川河口堰上下流、黒部川下流)の実施にあたっての艦装テストとし、一連の深浅測量につき1回とします

※機械経費として測量船、トータルステーション、音響測深器、ライトバン、雑器材等を見込んでいます。

※通信運搬費は想定しておりませんが、御社にて必要と見込む場合は内訳器材について明示をお願いいたします。

※材料費として、木杭、フィルム、記録紙、燃料、雑品等を見込んでいます。

※精度管理費として、精度管理、機械器具の検定に必要な経費であり、係数は水資源機構が定める積算基準に基づき算出しています。

④ 利根川河口堰上流域のデータ入力及び結果整理 測量範囲(450m×230m) 10,000m2当たり

工種・名称	規格	単位	数量	日数	単価	備考
直接人件費						
測量主任技師		人				
測量技師		人				
測量技師補		人				
測量助手		人				
測量補助員		人				
測量船操縦士		人				
機械経費	消耗品等	%				直接人件費に対する割合
通信運搬費		%				直接人件費に対する割合
材料費		%				直接人件費に対する割合
精度管理費			0.09			深浅測量 精度管理費係数

想定数量：110,000m2程度とし、1割程度の変動を想定しています。

※機械経費として測量船、トータルステーション、音響測深器、ライトバン、雑器材等を見込んでいます。

※通信運搬費は想定しておりませんが、御社にて必要と見込む場合は内訳器材について明示をお願いいたします。

※材料費として、木杭、フィルム、記録紙、燃料、雑品等を見込んでいます。

※精度管理費として、精度管理、機械器具の検定に必要な経費であり、係数は水資源機構が定める積算基準に基づき算出しています。

- ・一回当たりの歩掛を記入してください。また、特記事項があれば記載してください。
- ・着色したセルに数量等を記入して下さい。

⑤ 利根川河口堰下流域 測量範囲(450m×350m) 10,000m2当たり

工種・名称	規格	単位	数量	日数	単価	備考
直接人件費						
測量主任技師		人				
測量技師		人				
測量技師補		人				
測量助手		人				
測量補助員		人				
測量船操縦士		人				
機械経費	消耗品等	%				直接人件費に対する割合
通信運搬費		%				直接人件費に対する割合
材料費		%				直接人件費に対する割合
精度管理費			0.09			深浅測量 精度管理費係数

想定数量：160,000m2程度とし、1割程度の変動を想定しています。

※機械経費として測量船、トータルステーション、音響測深器、ライトバン、雑器材等を見込んでいます。

※通信運搬費は想定しておりませんが、御社にて必要と見込む場合は内訳器材について明示をお願いいたします。

※材料費として、木杭、フィルム、記録紙、燃料、雑品等を見込んでいます。

※精度管理費として、精度管理、機械器具の検定に必要な経費であり、係数は水資源機構が定める積算基準に基づき算出しています。

⑦ 黒部川水門下流域 測量範囲(60m×645m) 10,000m2当たり

工種・名称	規格	単位	数量	日数	単価	備考
直接人件費						
測量主任技師		人				
測量技師		人				
測量技師補		人				
測量助手		人				
測量補助員		人				
測量船操縦士		人				
機械経費	消耗品等	%				直接人件費に対する割合
通信運搬費		%				直接人件費に対する割合
材料費		%				直接人件費に対する割合
精度管理費			0.09			深浅測量 精度管理費係数

想定数量：40,000m2程度とし、1割程度の変動を想定しています。

※機械経費として測量船、トータルステーション、音響測深器、ライトバン、雑器材等を見込んでいます。

※通信運搬費は想定しておりませんが、御社にて必要と見込む場合は内訳器材について明示をお願いいたします。

※材料費として、木杭、フィルム、記録紙、燃料、雑品等を見込んでいます。

※精度管理費として、精度管理、機械器具の検定に必要な経費であり、係数は水資源機構が定める積算基準に基づき算出しています。

⑥ 利根川河口堰下流域のデータ入力及び結果整理 測量範囲(450m×350m) 10,000m2当たり

工種・名称	規格	単位	数量	日数	単価	備考
直接人件費						
測量主任技師		人				
測量技師		人				
測量技師補		人				
測量助手		人				
測量補助員		人				
測量船操縦士		人				
機械経費	消耗品等	%				直接人件費に対する割合
通信運搬費		%				直接人件費に対する割合
材料費		%				直接人件費に対する割合
精度管理費			0.09			深浅測量 精度管理費係数

想定数量：160,000m2程度とし、1割程度の変動を想定しています。

※機械経費として測量船、トータルステーション、音響測深器、ライトバン、雑器材等を見込んでいます。

※通信運搬費は想定しておりませんが、御社にて必要と見込む場合は内訳器材について明示をお願いいたします。

※材料費として、木杭、フィルム、記録紙、燃料、雑品等を見込んでいます。

※精度管理費として、精度管理、機械器具の検定に必要な経費であり、係数は水資源機構が定める積算基準に基づき算出しています。

⑧ 黒部川水門下流域のデータ入力及び結果整理 測量範囲(60m×645m) 10,000m2当たり

工種・名称	規格	単位	数量	日数	単価	備考
直接人件費						
測量主任技師		人				
測量技師		人				
測量技師補		人				
測量助手		人				
測量補助員		人				
測量船操縦士		人				
機械経費	消耗品等	%				直接人件費に対する割合
通信運搬費		%				直接人件費に対する割合
材料費		%				直接人件費に対する割合
精度管理費			0.09			深浅測量 精度管理費係数

想定数量：40,000m2程度とし、1割程度の変動を想定しています。

※機械経費として測量船、トータルステーション、音響測深器、ライトバン、雑器材等を見込んでいます。

※通信運搬費は想定しておりませんが、御社にて必要と見込む場合は内訳器材について明示をお願いいたします。

※材料費として、木杭、フィルム、記録紙、燃料、雑品等を見込んでいます。

※精度管理費として、精度管理、機械器具の検定に必要な経費であり、係数は水資源機構が定める積算基準に基づき算出しています。

見積仕様書

第 1 節 業務目的

本業務は、河口堰周辺の河床状況把握を行うため、河川測量（深淺測量、河道横断測量）を行うものである。

第 2 節 測定位置

測定位置は利根川河口堰上下流域及び黒部川水門下流域である。また、測量の範囲は別添図－1 のとおりである。なお、機構が設置した基準点は担当職員が別途指示する。

第 3 節 業務内容

本業務は河口堰周辺の河床状況把握を行うため、深淺測量、河川測量を行う。本業務で実施する測量は、第 2 節に示す範囲を対象に水深 1m 以上はナローマルチビーム測深機を用いた深淺測量、水深 1m 未満は河川定期横断測量を行う。

3-1 現地踏査

測量方法、使用する主要な機器、要員、日程等について現地調査を行い、適切な作業計画の立案を行う。なお、現地踏査は別添図－1 に示す流域を対象に行う。

3-2 河川測量・深淺測量

1. 艀装テスト

測量作業に先立ち、艀装テストを行い、機器の調整等を行う。

2. 深淺測量（水深 $\geq 1\text{m}$ ）

別添図－1 に示す流域を対象にナローマルチビーム測深機（分解能 5.0cm 以下）を用いた深淺測量を行う。

3. 河川定期横断測量（水深 $< 1\text{m}$ ）

別添図－2 に示す測線において、陸上部及び水深 1m 未満の箇所を対象に河川定期横断測量を行う。

3-3 結果整理

測量作業が完了した段階で、測量成果資料として次のものを作成する。作成にあたっては、深淺測量の結果と河川定期横断測量の結果を合成する。

1. 利根川本川 横断図 14 測線（縮尺：横 1/1000、縦 1/100）
2. 黒部川 横断図 9 測線（縮尺：横 1/100）
3. 利根川本川 縦断図 堰上下流各 12 測線（縮尺：横 1/500、縦 1/100）
4. 黒部川 縦断図 中心 1 測線（縮尺：横 1/1000、縦 1/100）
5. 等深線図（縮尺：1/2000）
6. ナローマルチビーム測量 3DCAD データ 1 式
7. その他担当職員が指示する資料

第 4 節 成果品の検定

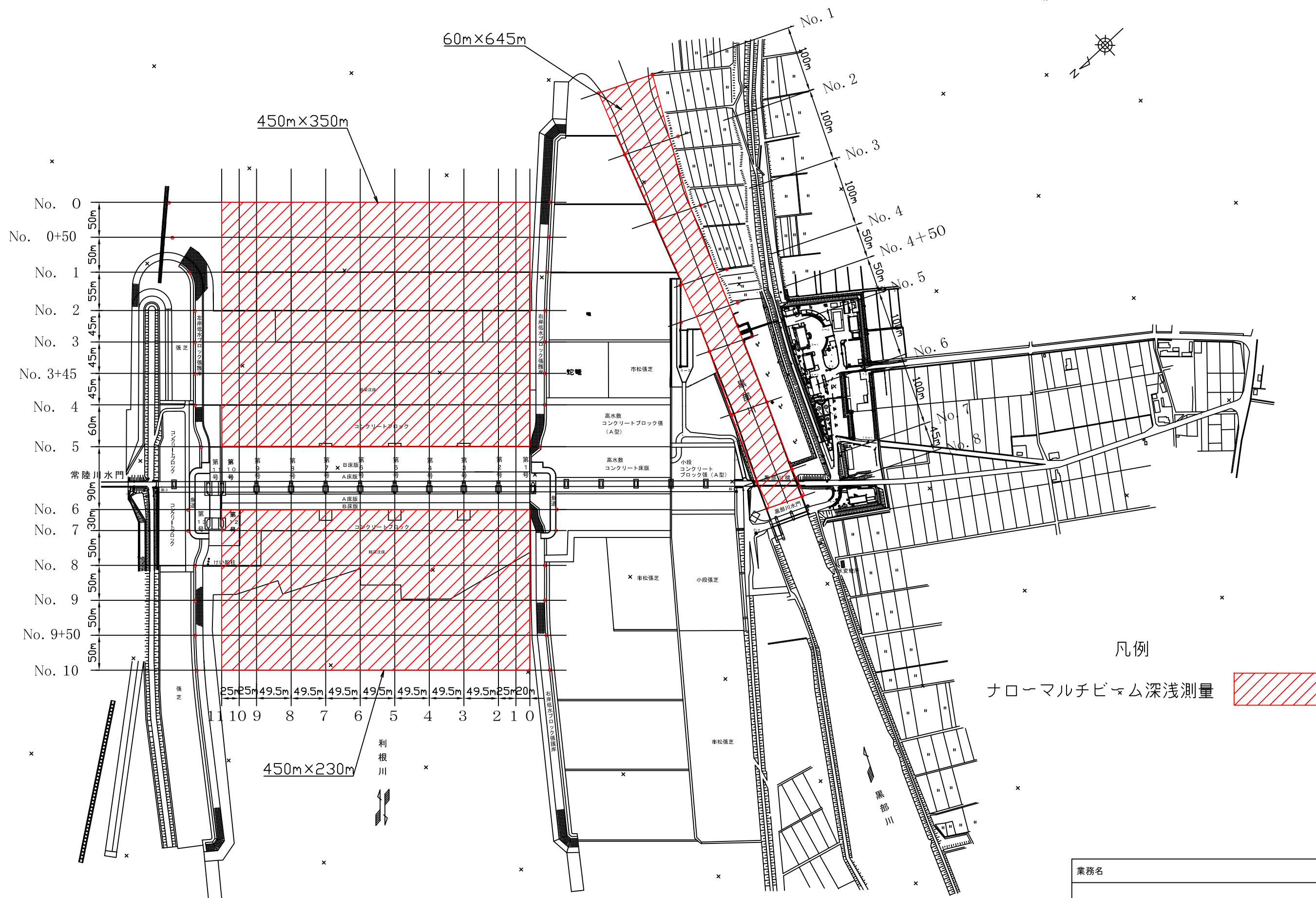
本業務は、日本測量協会技術センター等高度な技術水準を持つ機関における審査を受けるものではない。

第 5 節 作業船の使用について

作業船は原則として、業務を実施する者が用意したものを使用する。

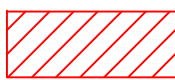
－ 以 上 －

別添図ー1 深浅測量平面図



凡例

ナローマルチビーム深浅測量



業務名	
名称 別添図ー1 深浅測量平面図	
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構 利根川下流総合管理所	